



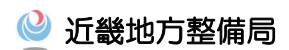
近畿管内における これまでの主な豪雨災害

国土交通省 近畿地方整備局
河川部
令和2年7月



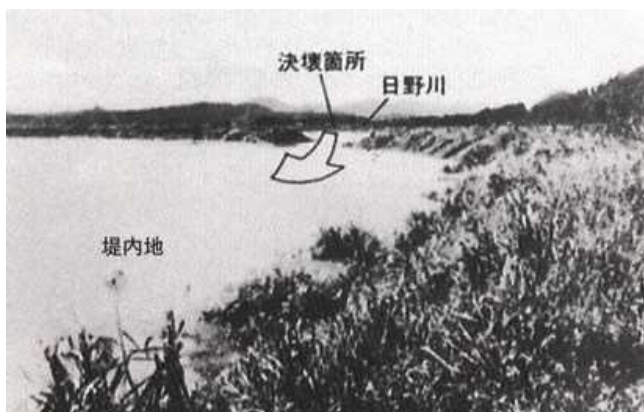
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

本資料に掲載している主要な水系の位置



○日野川三郎丸地先において堤防が決壊し、災害救助法が発動。

死者・行方不明者13人、流出・損壊家屋1,252戸、床上浸水9,517戸、床下浸水8,110戸、被害が発生した。



福井市三郎丸の浸水状況



福井市花月町付近の浸水状況

○台風第18号(第二室戸台風)で、中角地点上流域では2日間の流域平均雨量が362.7 mmを記録し、死者・行方不明者25人、家屋全・半壊125戸、床上浸水1,740戸、床下浸水2,621戸の被害が発生した。



旧上志比村(現永平寺町)の被災状況

○足羽川天神橋地点で近年最大流量(毎秒約2,400立方メートル)を記録し、死者4人、行方不明者1名、家屋全・半壊406戸、床上浸水3,314戸、床下浸水10,321戸の被害が発生した。



あすわ
足羽川の決壊状況
かすが
(福井市春日町)



上流域では土石流による被害が発生
みやま くらつくり
旧美山町蔵作(現福井市)

○高塚地点で戦後最大の流量(毎秒約1,450立方メートル)を記録し、193か所の堤防が欠損。死者・行方不明者53人、重・軽傷者194人、家屋全・半壊、損傷等1,952戸、浸水4,080戸の被害が発生した。



にしづ
小浜市西津地区の惨状



かみだわら
小浜市上竹原地区の惨状

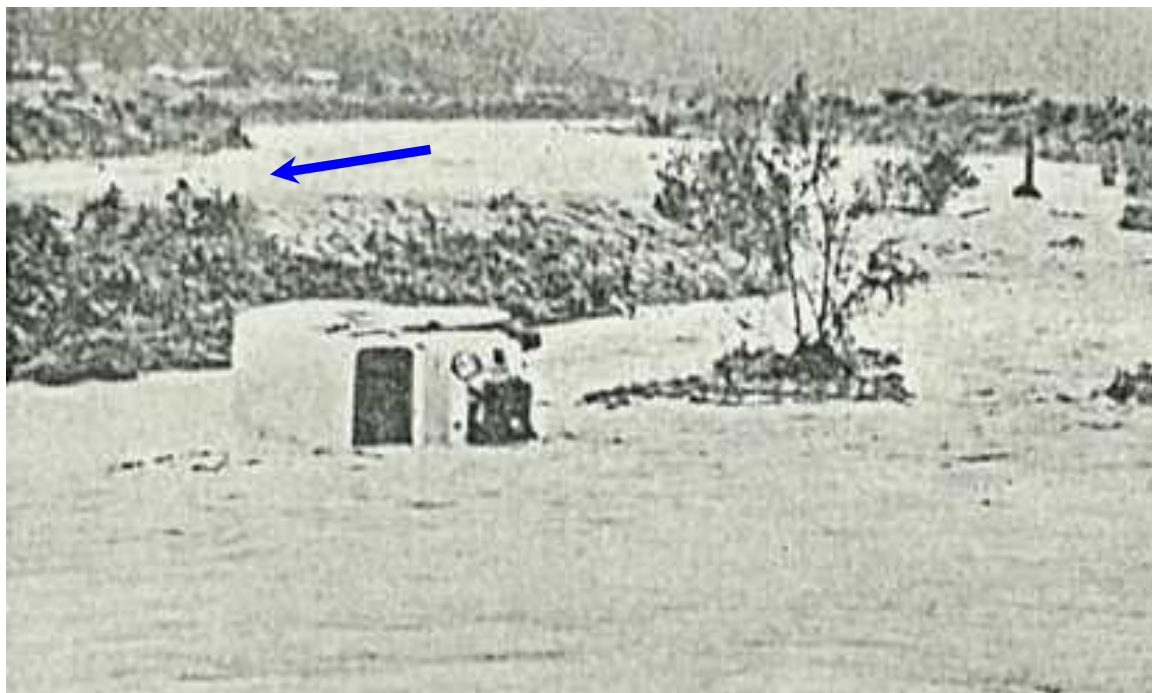


まるやま
流出した丸山橋



うんびん
小浜市雲浜地区の惨状

○高塚地点で戦後2番目の流量(毎秒約1,230立方メートル)を記録し、死者6人、全壊・流出6戸、床上浸水290戸、床下浸水1,272戸の被害が発生した。



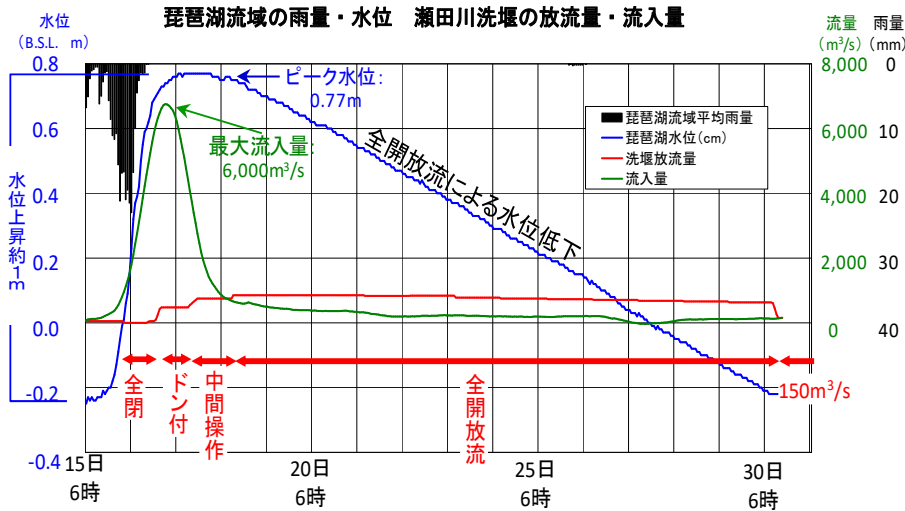
かみなか わかさ
旧上中町(現若狭町)の浸水状況

○小浜雨量観測所では2日間の流域平均雨量が384 mmを記録し、全国で初めて気象庁から大雨特別警報が発令され、高塚地点で近年最大の流量(毎秒約1,200立方メートル)を記録し、床上浸水34戸、床下浸水83戸の被害が発生した。



のぎ しものぎ
野木川堤防決壊状況(下野木)

- 全国で初めて特別警報が発令され、戦後最大クラスの洪水となり、琵琶湖への流入量は最大で毎秒約6,000立方メートルに達したと推定される。一方、琵琶湖からの流出河川は瀬田川のみであり、今回の豪雨による瀬田川からの流出量は最大でも毎秒約800立方メートルであったことから、琵琶湖水位は約1m上昇した。
- 瀬田川洗堰下流にある宇治川で、天ヶ瀬ダムの洪水調節開始流量を上回る流入量であったことから、瀬田川洗堰の全閉操作を41年ぶりに行った。



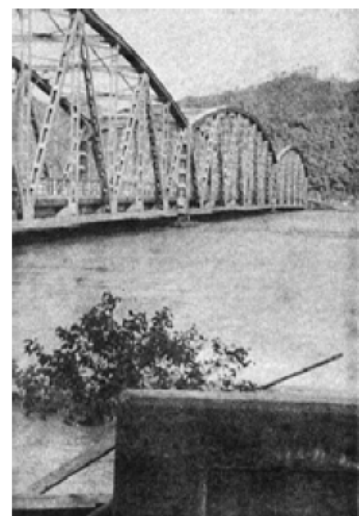
ドン付 : 越流状態で最大流量を放流するもので、上段扉、下段扉を河床に付けた状態
 中間操作 : 10門のうち、7門をドン付、他を全開放流にした状態



- 福知山地点で戦後最大流量(毎秒約6,500立方メートル)を記録し、多くの箇所では堤防が決壊。死者・行方不明者37人、床上浸水5,307戸、床下浸水2,458戸におよぶ戦後最大となる被害が発生した。



国鉄福知山駅周辺



おおかわばし 大川橋付近(舞鶴市)

○3日間に渡り流域全体に雨が降り続け、ほとんどの雨量観測所で累加雨量250 mmを超過。福知山地点では最大流量毎秒約5,300立方メートル(計画高水位に匹敵する洪水)を記録し、死者5人、床上浸水1,251戸、床下浸水418戸の被害が発生した。



浸水によりバス上に取り残された
人々(舞鶴市志高地先)



おおえ こうもり
大江町河守付近



しだか
舞鶴市志高付近

○福知山地点では最大流量毎秒約5,400立方メートル(計画高水位を超過する洪水)を記録し、床上浸水1,102戸、床下浸水500戸の被害が発生した。



とだ
中流部の家屋浸水状況(戸田地先)

○福知山地点で最大流量毎秒約4,300立方メートルを記録し、福知山市戸田・川北地区で溢水し、床上浸水104戸、床下浸水134戸の被害が発生した。



とだ
戸田地先の浸水状況(平成29年10月23日16時30分)

○4日間に渡り雨が降り続け福知山雨量観測所では累加雨量414mmを観測、由良川沿川の舞鶴市や福知山市において、床上浸水226戸、床下浸水337戸の被害が発生した。



福知山市内の浸水状況



福知山市役所大江支所

○戦後最大の洪水で、宇治川では左岸堤防が450mにわたり、決壊し、現在の久御山町全域が浸水。現久御山町では25日間にわたり浸水が継続。
この洪水によって、京都府域で死者・行方不明者118人、負傷者807人、家屋全・半壊6518戸、床上・床下浸水63,789戸の被害が発生した。

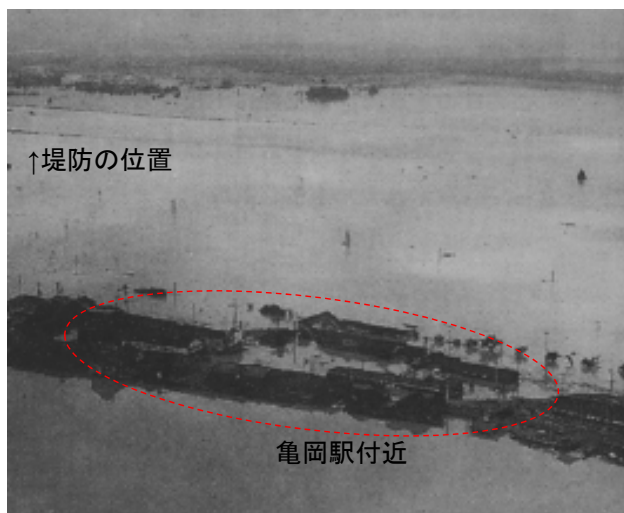


うじがわ むかいじま
宇治川向島における決壊



やわた
八幡市域の浸水状況

○桂川亀岡上流域では275mm/2日以上 of 豪雨となり、園部川をはじめ中小河川が氾濫、決壊した。
この洪水により亀岡上流域では、死者・行方不明者11人、負傷者59人、家屋全・半壊172戸、床上・床下浸水5,746戸の被害が発生した。



かめおか
亀岡駅前の浸水状況



やぎちょう
八木町内の浸水状況

○全国で初めて特別警報が発令され、戦後最大クラスの洪水となり、宇治川では天ヶ瀬ダムが初の異常洪水時防災操作することとなり、宇治川では全川にわたり計画高水位を超過。また、桂川では嵐山における溢水被害や伏見区の堤防天端から越水し、約30haが浸水した。



桂川越水(京都市伏見区)



宇治川洪水流下状況(ピーク時)



9月16日午前9時頃の渡月橋



天ヶ瀬ダムから宇治川下流を望む

【京都府】淀川水系桂川 平成30年7月豪雨

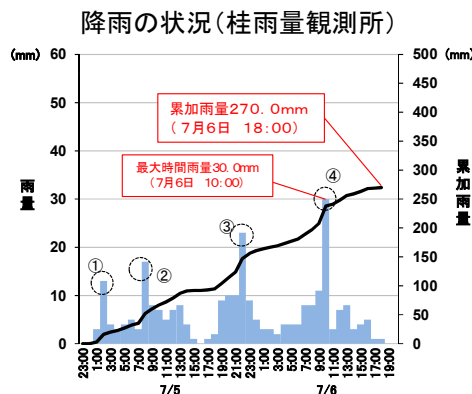
○2日間にわたり300mm/h近い降雨が断続的に4回発生し、日吉ダムも異常洪水時防災操作を実施。異常洪水時防災操作により、ダム下流の水位が上昇する恐れがあることから、事前に緊急記者会見を行い、下流市町への情報提供を実施。

桂川嵐山地区では、溢水により道路浸水等発生するものの、これまで実施した河道改修により、2戸の商店が浸水するにとどまった。



京都市右京区嵐山地先の浸水状況

(平成30年7月6日14時頃)



桂川では4つの降雨ピークにより断続的に水位が上昇

(平成30年7月7日7時時点)



緊急記者会見の様子

(平成30年7月6日18~19時)

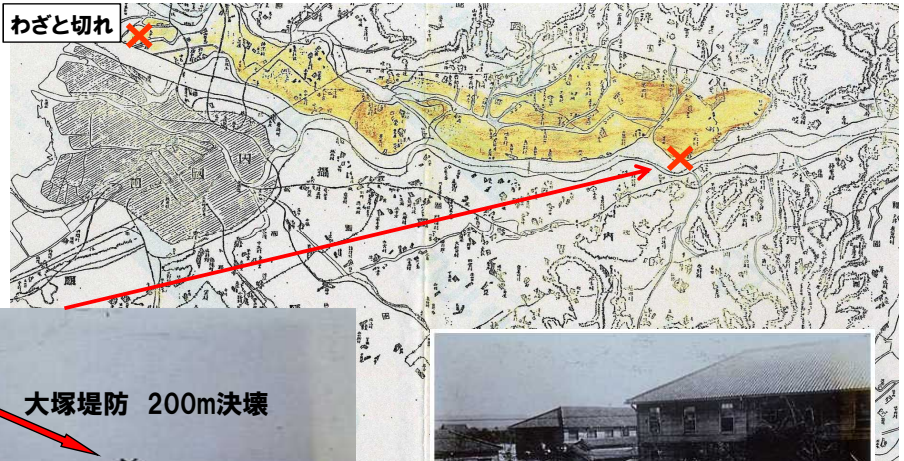
【大阪府】淀川水系 大正6年(1917年)洪水

○枚方水位が5.68mに達し、右岸大塚堤防が約200mに渡って決壊。堤防決壊による氾濫流は、淀川右岸を流下し、西成郡稗島地先まで到達。堤内側の氾濫流は、淀川下流部の堤防を切断(わざと切れ)し、排水を行った。

この洪水によって、大阪府域で死者・行方不明者4人、負傷者22人、家屋全・半壊528戸、床上・床下浸水16,133戸の被害が発生した。



わざと切れの碑(西淀川区)



高槻市三島江兵隊舎の浸水状況

18

【大阪府】淀川水系 昭和28年9月(台風第13号)

○淀川本川の水が檜尾川を逆流し、檜尾川左岸堤が約60mにわたり決壊。約500haが20日間浸水。

この洪水によって、大阪府域で死者・行方不明者27人、負傷者453人、家屋全・半壊4110戸、床上・床下浸水163,788戸の被害が発生した。



ひおがわ
檜尾川左岸決壊口



淀川右岸堤から高槻市内の浸水状況

19

○全国で初めて特別警報が発令され、戦後最大クラスの洪水となり、淀川本川では、昭和57年洪水以来約30年ぶりに高水敷が冠水した。



高槻市上空 枚方を望む(淀川本川水位ピーク付近)

20

【大阪府】大和川水系 昭和57年8月洪水

○台風第10号と前線、台風第9号くずれの低気圧による洪水で、戦後最大の洪水が発生し、柏原観測所で水位4.64mを記録。大阪府域では堺市を中心に家屋全・半壊13戸、床上浸水3,472戸、床下浸水7,845戸と支川全域で甚大な浸水被害が発生した。



堺市付近



松原市付近

21

○台風第21号の北上に伴い、遠里小野水位観測所で、計画高水位を超過。大阪府域では柏原市において外水が溢水し工場などに浸水被害が発生した。



おりおの
大阪市住吉区遠里小野付近(23日8時頃)



柏原市付近(23日9時頃)

○秋雨前線および台風第17号に伴う豪雨で、龍野上流で12時間雨量147.6mmを記録し、浸水面積2,782ヘクタール、床上浸水1,457戸、床下浸水1,577戸の被害が発生した。



くりすがわ
栗栖川沿川の浸水状況



いほがわ
左岸山崩れにより揖保川が堰き止められた状況
しろうし いちのみやちようふくち
(宍粟市一宮町福知付近)



揖保川が土砂で埋没し流路が変わった状況
にしぶか
(宍粟市一宮町西深)

○29日6時頃から雨が降り始め、上流の引原では189mm、中流の神戸では134mm、下流の龍野では187mmの日雨量となり、龍野地点では最高水位3.04mを記録した。たつの市新宮町では堤防越流により浸水被害が発生し、農地・宅地の浸水10ha、床上浸水49戸、床下浸水427戸の被害をもたらした。



たつの市新宮町の浸水状況



栗栖川梅原橋下流(たつの市新宮町)

○龍野上流で12時間雨量141.9mmを記録し、浸水面積292ヘクタール、床上浸水120戸、床下浸水408戸の被害が発生した。



^{たい} 宍粟市田井地区の浸水状況



^{あづみ} 安積橋下流浸水状況(宍粟市一宮町)

○龍野水位観測所でピーク水位3.64mを観測し、氾濫危険水位を超えた。兵庫県全域では、死者2人、家屋全・半壊10戸、床上浸水100戸、床下浸水541戸の被害が発生した。



揖保川 12.8k ^{たつの}龍野水位観測所付近
(平成30年7月7日2時40分)

○国包観測所で加古川大堰完成後の最高水位4.77mを記録し、死傷者1名、浸水面積1,447ヘクタール、床上浸水430戸、床下浸水1,222戸の被害が発生した。



とりのゅうなだ
鬮竜灘



かとう
加東市の浸水状況



おの
小野市の浸水状況

○国包観測所で水位4.66mを記録し加東市を中心に浸水した。浸水面積10ヘクタール、浸水家屋5戸の被害が発生した。



かとう
加東市の浸水状況

○小野雨量観測所において累加雨量300mm、国包水位観測所においてピーク水位4.73m、板波水位観測所ではピーク水位5.63mを観測し、加東市にある河高地区、下滝野地区、上滝野地区において溢水により、床上浸水3戸、床下浸水5戸の被害が発生した。



みのがわ
加古川 15.8k 美囊川合流部
(平成30年7月7日7時)



いたば
加古川 37.6k 板波水位観測所付近
(平成30年7月7日7時)

○台風第23号では2日間の流域平均雨量が278mmを記録し、浸水面積4,083ヘクタール、浸水被害7,944戸の被害が発生した。



たちの
立野地先の決壊状況



とりの
鳥居地先の決壊状況

豊岡市域の浸水状況

○台風第9号では、2日間の流域平均雨量が188mmを記録し、浸水面積346ヘクタール、浸水被害77戸の被害が発生した。



ひのそ地区(円山川左岸6.6k付近)



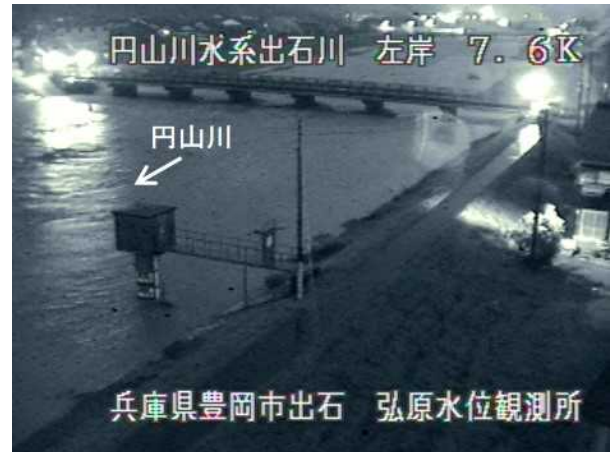
としま
戸島地区(円山川右岸4.2k付近)

豊岡市域の浸水状況

○豪雨に伴う2日間の流域平均雨量327mm、立野水位観測所ではピーク水位6.96mを観測。兵庫県全域では、死者2人、家屋全・半壊10戸、床上浸水100戸、床下浸水541戸の被害が発生した。



円山川 18.2k たでかわ 蓼川大橋付近
(平成30年7月7日4時40分)



出石川 7.6k ひろはら 弘原水位観測所付近
(平成30年7月7日4時30分)

○台風第10号と前線、台風第9号くずれの低気圧による洪水で、戦後最大の洪水が発生し、王寺観測所で水位7.54mを記録。奈良県域では家屋全・半壊256戸、床上浸水2,983戸、床下浸水7,387戸と甚大な浸水被害が発生した。



おうじちょう
王寺町付近



王寺町付近の被害状況

○梅雨前線による大雨により、内水浸水による被害が発生した。奈良県域では、全・半壊1戸、床上浸水211戸、床下浸水2,179戸の被害が発生した。



あんどちよう かわいちよう
安堵町・河合町付近

○台風第21号の北上に伴い、藤井、王寺及び河合の水位観測所で、計画高水位を超過。奈良県域では王寺町および三郷町において外水が溢水し、床上浸水10戸、床下浸水7戸の被害が発生した。



さんごうちようたつのみなみ
三郷町立野南地先の状況
(平成29年10月23日0時30分)



大和川33.4k付近(23日9時頃)

○船戸地点で戦後2番目の流量(毎秒約7,360立方メートル)を記録し、橋本市、岩出市、和歌山市など紀の川中下流部で特に大きな被害が発生。
死傷者91人、家屋全・半壊1,546戸、床上浸水4,035戸、床下浸水7,473戸の被害が発生。



おうづ
麻生津地区の被害状況

〔 溢水で大きく掘り取られた県道海南九度山線麻生津～竜門間 くどやま おうづ りゅうもん 〕

○船戸地点で戦後最大の流量(毎秒約7,650立方メートル)を記録し、紀の川上流の大台ヶ原等の山岳地帯に降雨が集中。
死傷者71人、家屋全・半壊347戸、床上浸水3,180戸、床下浸水1,917戸の被害が発生。

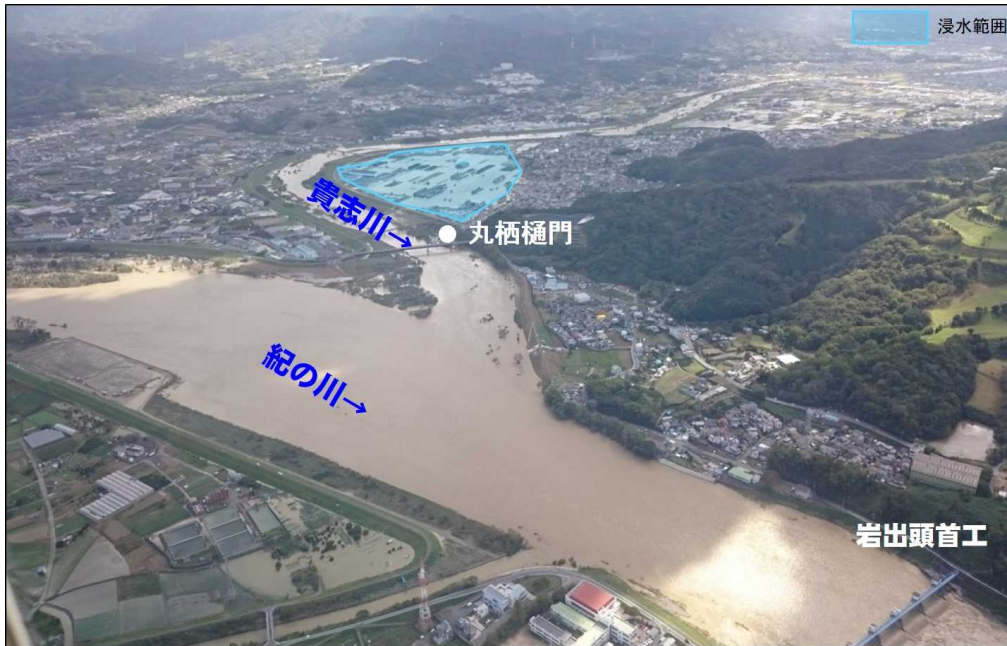


和歌山市南海橋の被害状況



奈良県五條市の被害状況

○船戸水位観測所ではピーク水位6.76mを観測。支川貴志川水位観測所で左岸側で大規模な内水により浸水し、床上浸水35戸、床下浸水35戸の被害が発生した。



まるす
貴志川町丸栖の内水浸水の範囲

○伊勢湾台風では相賀地点で戦後2番目となる流量(毎秒約19,025立方メートル)を記録し、死者・行方不明者5人、家屋全・半壊466戸、床上浸水1,152戸、床下浸水731戸の被害が発生した。※

※ 数値については、新宮川水系での集計値



熊野川の氾濫状況(熊野川町付近)

○相賀地点で戦後最大量となる流量(毎秒約24,000立方メートル)を記録し、死者1人、浸水面積426ヘクタール、床上浸水2,162戸、床下浸水1,160戸の被害が発生した。※

※ 数値については、新宮川水系での集計値



国土交通省と消防による排水作業



旧熊野川大橋からの越水(右岸)

熊野川の氾濫状況

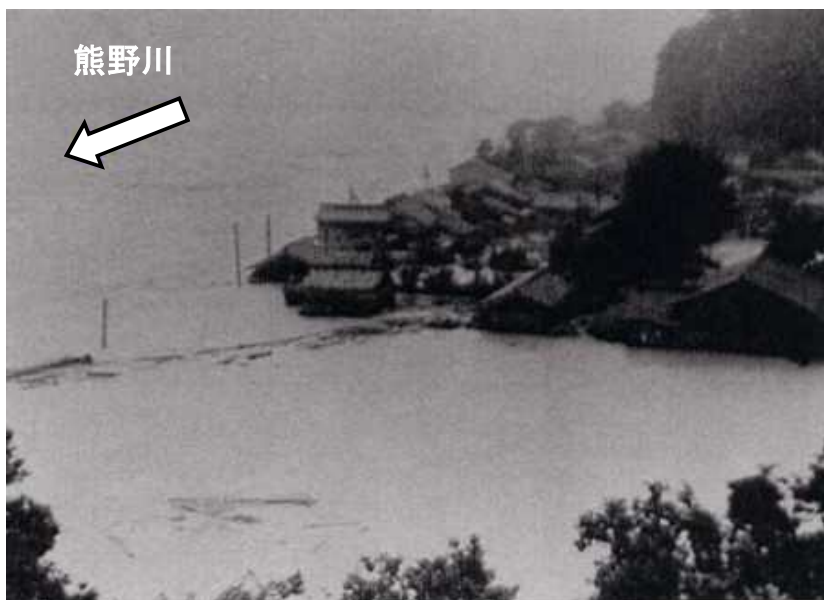
○新宮市新宮では累加雨量893mm、観測史上1位の値を更新。市田川では約84ヘクタールが内水により浸水した。市田川では、家屋一部損壊75戸、床上浸水593戸、床下浸水557戸の被害が発生した。



新宮市の内水浸水の範囲

○伊勢湾台風では相賀地点で戦後2番目となる流量(毎秒約19,025立方メートル)を記録し、死者・行方不明者5人、家屋全・半壊466戸、床上浸水1,152戸、床下浸水731戸の被害が発生した。※

※ 数値については、新宮川水系での集計値



熊野川の氾濫状況(紀宝町1.8k付近)

○相賀地点で戦後最大量となる流量(毎秒約24,000立方メートル)を記録し、死者1人、浸水面積426ヘクタール、床上浸水2,162戸、床下浸水1,160戸の被害が発生した。※

※ 数値については、新宮川水系での集計値



おのだにがわ たかおか
相野谷川の浸水状況(高岡地区付近)



たかおか
倒壊した特殊堤(高岡地区輪中堤)

○木津川の支流名張川流域では、流出した土砂によって名張川が埋没した。宇陀川合流点付近では河床が数メートル上昇し、せき止められた濁流が名張市内を流下し、市街地全域が浸水した。



なつみ

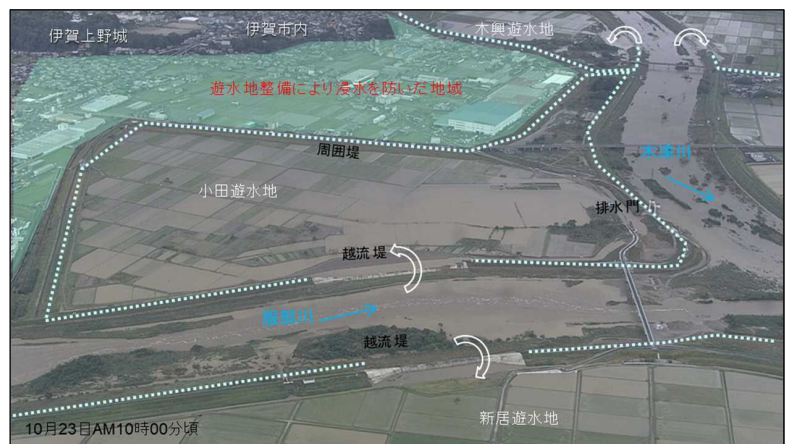
名張川夏見地区の被害状況

名張地区で数カ所の決壊氾濫が発生。橋の流出が相次ぎ、市街地全域が浸水。

- 名張水位流量観測所で昭和33年以降の観測記録で3番目となる7.70mを記録し、宇陀川箕輪中村地区で道路冠水の被害が発生。
- 台風21号において、木津川及び服部川で遊水池の運用開始以来初めて湛水し、約600万立方メートルを貯留。



あかめたきせん
道路冠水した県道赤目滝線



遊水池への越流状況

